



**Company Profile**

ビジネスの進化を加速する、  
決済システムのリーディングカンパニー

## 決済スタイルの枠を越え、世界に躍進する

### トップメッセージ



当社は1967年の創業以来、自動販売機・精算機を始めとする自動サービス機器における現金決済装置の開発、製造及び販売を行ってまいりました。また、2002年には電子決済端末およびシステムの提供を開始し、以来、現金決済および電子決済の両面からお客様の決済ビジネスをトータルにサポートしております。

今日、自動サービス機器を利用した省人化システムへのニーズはますます多様化・高度化しています。当社はこうした変化や要求に応えるべく、より高度な製品及びサービスの提供を続けていく所存でございます。

2013年12月には、グローバルに事業を展開する決済システムプロバイダーのCPI(Crane Payment Innovations)ファミリーに加わりました。日本国内及びグローバル市場の決済分野において、さらなる価値の創造と提供を追及し、お客様の事業拡大・成長に貢献してまいります。

今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長 小池 雄一

# 01 / コンラックスの強み /

## 1 パイオニア

1967年の創業以来、いくつもの「はじめて」を創り出し、現金決済装置のパイオニアとしての歩み。



## 2 トータルサービス

キャッシュ(現金決済)もキャッシュレス(電子決済)もトータルに提供するパートナーとして価値を提供いたします。



## 3 テクノロジー

豊かな経験と技術を大切にしながら、開発者一人ひとりの創造性を引き出す独自開発プロセス「CPDQ」でアイデアを高品質な製品に変え、お客様のニーズにお応えします。



## 4 グローバル

世界100ヶ国以上の国や地域に決済ソリューションを提供するCPI※の一員として、お客様の海外進出をサポートいたします。

※:CPI(Crane Payment Innovations)はクレーンNXT社決済事業部門の名称

# 02 / コンラックスの歴史 /

業界初、国内初、世界初、豊富な実績はパイオニアの証でもあります。

1960s	1967年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■硬貨選別機の製造販売を目的に株式会社日本コインコを設立。</li> <li>■<b>国内初</b> 主要部品をはじめ国産化した「E-9130」を発売。</li> </ul>	2010s	2012年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■商品選択ボタン「SB-100シリーズ」、つり銭補助機「ZD-17/27シリーズ」、つり銭リフター「LT-100シリーズ」と言った決済関連の周辺機器が相次いで登場。</li> </ul>
	1969年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>国内初</b> 硬貨選別機の完全国産化製品(N-9130、N-730)を発売。</li> </ul>		2013年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■米国および世界各地に拠点を置くCPI(Crane Payment Innovations)の一員となる。</li> </ul>
1970s	1973年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>世界初</b> LSI搭載型硬貨選別機「EKシリーズ」が登場。</li> </ul>	1980s	2014年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■4金種対応紙幣識別機「NB-MBシリーズ」、使用用途で選べる3タイプをラインナップ。</li> <li>■<b>業界初</b> 中国、韓国向けに2枚払出し機構を搭載し、6枚同時払い出しを実現した硬貨選別機「CL-T100シリーズ」が登場。</li> </ul>
	1985年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>世界初</b> 自動販売機向け米国1ドル紙幣用識別機「NB-10シリーズ」販売開始。</li> </ul>		2015年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■つり札の一括払出機能を搭載した、業界最小の循環式紙幣識別機「NB*-M400シリーズ」が登場。</li> </ul>
1990s	1988年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■商号を『株式会社日本コンラックス』に変更。</li> </ul>	1990s	2017年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1967年に『日本コインコ』として創業以来、50周年を迎える。</li> <li>■コインメック状態を判り易く可視化するインベントリパネルを搭載した硬貨識別機「CLX-Vシリーズ」登場。</li> </ul>
	1993年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自動販売機業界の標準寸法となった薄型の紙幣識別機「NBX-1Sシリーズ」登場。</li> </ul>		2018年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共通プラットフォームで、異なる長さや幅のグローバル紙幣に対応可能な紙幣識別機「R900シリーズ」登場。</li> </ul>
2000s	1995年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>業界初</b> 1CPU化を実現した硬貨選別機「CZXシリーズ」登場。</li> </ul>	2000s	2019年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■QRコード*決済に対応した電子決済端末「ME-10」登場。</li> <li>■日本自動販売協会推奨電子マネーシステムに採用。</li> <li>■店舗向けソリューションとして、自動つり銭機「Pay Cube」登場。</li> </ul>
	1997年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>業界初</b> 海外向け5本チューブ型硬貨選別機「CCM5シリーズ」登場。</li> </ul>		2020s	2023年
2010s	2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電子マネー端末付き紙幣識別機「BCXシリーズ」登場。</li> <li>■自動販売機における電子マネー決済の手法である「商品先選択方式」を考案、現在も標準採用。</li> </ul>	2010s	2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■複合アルゴリズムを識別方式に採用した紙幣識別機「NBX-R600シリーズ」、複数のマネーに対応した電子マネー端末「MTシリーズ」登場。</li> </ul>
	2005年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交通系電子マネー端末「SX-10シリーズ」登場。</li> </ul>		2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>業界初</b> 5円循環式硬貨選別機「CLX-Gシリーズ」登場。</li> </ul>
	2006年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■米国の決済処理装置のリーディングカンパニーMEI社とグループを結成。</li> </ul>			

※「㊄」は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。 ※「Edy」(現:楽天Edy(ラクテンエディ))は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。  
\*「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

キャッシュ(現金決済)も、キャッシュレス(電子決済)も、決済システムをトータルサポート

### 現金決済モジュール

高い貨幣識別技術を用いた、信頼性の高いモジュール製品のご提供



決済システムのワンストップ・ソリューションパートナー



### 現金決済ソリューション

現金決済の省人化ソリューションにより店舗運営の効率化をサポート



### 電子決済ソリューション

業界最多の多様・多彩な決済手段をワンストップサポート



### 現金決済モジュール

高い貨幣識別技術を用いた、信頼性の高いモジュール製品のご提供

日本コンラックスの技術の基盤は自動販売機向けの現金決済装置です。無人で屋外に設置されることが多い自動販売機では、その設置環境から高い識別性能や高いセキュリティ能力、そして環境に対応する高い耐久性と耐候性が求められます。日本コンラックスは、これらの要求に対し、常に真摯に向き合い最新の技術で応え、業界を牽引してまいりました。飲料用自動販売機市場における70%以上\*のシェアは、当社の技術とサービスに対する信頼の証と言えます。日本コンラックスの硬貨・紙幣関連製品は、自動販売機そしてその他の様々な決済ソリューションへのご要望やニーズにお応えいたします。

\*飲料自動販売機出荷統計に基づく当社推定値。

### 硬貨関連

- 硬貨選別機
- 硬貨一括投入機
- コインアクセプター など



### 紙幣関連

- 紙幣選別機
- 紙幣払出機 など



### 未来技術遺産

2012年、主要部品を初めて国産化した硬貨選別機「E-9130」(1967年発売)が国立科学博物館「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」に登録されました。



## 現金決済ソリューション

### 現金決済の省人化ソリューションにより 店舗運営の効率化をサポート

店舗における会計業務は、販売する商品や提供するサービスなどによって多種多様です。日本コンラックスは、現金決済モジュールの技術開発を通じた自動会計の体系づくりの豊富な実績と知見を活かして、店舗に最適な会計形態のご提案から決済処理まで、会計業務の効率化をトータルでサポート。人材不足の課題や回転率向上など、店舗ビジネスの課題にアプローチします。

# Pay Cube

自動つり銭機

長年の実績で培った貨幣識別・払出技術をキュッと詰め込んだ小型自動つり銭機です。



## 電子決済ソリューション

### 業界最多の多様・多彩な決済手段を ワンストップサポート

日本における電子マネーの普及は著しく、数多くの電子決済ブランドがサービスを展開し、キャッシュレス決済の利便性はますます向上しております。日本コンラックスでは、キャッシュレス決済による電子決済ソリューションの開発にも常に最新の技術で対応できるよう注力しております。また、端末の提供だけでなく、導入から運用までをサポートする仕組みも整え、「手軽に」そして「迅速に」キャッシュレス決済を導入頂けるよう、トータルサービスの提供を推進してまいります。

# MEシリーズ

マルチ電子決済端末

日本自動販売協会(JAMA)推奨  
シンククライアント型電子決済端末。  
国内主要電子マネー及びQRコード\*決済に対応。



ME-10

ME-20

\*「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## 04 対応市場



### ベンディング

飲料・食品自動販売機 など  
自動販売機の販売をサポートする  
硬貨選別機&紙幣識別機  
+キャッシュレス決済端末

自動販売機大国と言われる日本。清涼飲料の自動販売機だけでも210万台を超え、その自販金額は1.9兆円以上と言われています。その自動販売機に欠かせないのが硬貨選別機、そして紙幣識別機です。また、近年の電子マネーやQR決済の普及により、キャッシュレスで購入できる自動販売機も急速に増えてきています。

### リテール

小売 / 飲食店 / 医療 / ホテル / サービス など

硬貨選別機&紙幣識別機 +  
キャッシュレス決済端末で  
精算機、券売機などの決済をサポート

近年では、ファーストフードチェーン、病院、ゴルフ場、ホテルといった、対人による精算が当たり前であった様々な場面で、決済の自動化が加速しています。このような市場変化の中で、日本コンラックスの製品は、対象システムに要求される厳正かつ迅速な処理に見合う高い信頼性が評価され、食券券売機、精算機、コピー課金機、ICチャージ機など様々な場面で活用されています。



### トランスポート

駐車場 / 高速道路 / ガソリンスタンド など

屋外環境に強い硬貨選別機&  
紙幣識別機で無人決済機器の決済をサポート

コインパーキングやセルフガソリンスタンド、コイン洗車場などのトランスポート市場で使われている無人決済機器の多くは、屋外に設置されています。風雨、高温多湿、氷点下などといった過酷な屋外環境においても、決済機器には硬貨・紙幣を正確に判定し処理を行う高い識別性能や、偽造貨幣を感知し反応しないセキュリティ能力などが求められます。

## 05 事業体制

“いつも一步先を、いつも豊かな想像力を”  
日本コンラックスの信頼は、  
その歴史の上に築かれています。

### 営業体制

「お客様から最も信頼されるパートナー」であり続けるために

日本コンラックスの営業スタッフは、常にお客様の製品開発をその企画段階から支援いたします。  
さまざまな決済シーンでの実績とノウハウをもとに金銭処理にまつわる課題解決や新製品作りに役に立つソリューションを提供してまいります。



### 生産体制

独自の生産方式「CPS」で  
お客様のご要望に最大限お応えします

生産システム「CPS(コンラックス・プロダクション・システム)」の推進により、高度な「信頼性」と「効率性」を実現し、お客様が求める「品質」「納期」「価格」にお応えいたします。



### R&D体制

1人ひとりの創造性を育む組織と  
高品質な製品が生まれるしくみ

価値を創造するアイデアの源泉であり続けること、それがR&Dの使命です。  
開発者はこれまでに築き上げた豊かな経験と技術を大切にしながらも、いつも一步先の創造に想いをめぐらせております。  
その開発者1人ひとりの創造性を引き出すのも組織の力、日本コンラックスのR&Dは社員の育成と成長を大切にしております。そして、アイデアを製品に変える仕組み、それが、開発品質管理プロセス「CPDQ(コンラックス・プロダクト・デザイン・クオリティ・ゲート)」です。  
徹底した開発品質管理により、アイデアを高品質な製品として提供すべく開発に取り組んでおります。



### 危機管理体制

日本コンラックスでは、お客様への供給責任を果たすことを最重要活動として位置づけ、事業継続に大きな影響を及ぼす緊急事態時に被害の軽減ならびに早期復旧を図るため、「事業継続計画(BCP)」を制定しております。  
具体的な施策としては、従業員とその家族及び関係者の安全確保、重要業務の災害対策強化、サプライチェーンの強化など、緊急事態時を想定した対応力の強化を図っております。  
また、緊急事態時における当社の状況をお客様へ迅速かつ正確に伝える事も重要活動と認識し、情報発信を行ってまいります。

#### ■事業継続計画(BCP)基本方針

- 本事業継続計画は、大きな災害や事故等、当社の事業を中断させる事態が発生した際に以下の目的を達成するために策定・運用する。
- (1) 社員とその家族及び関係者の生命・身体の安全確保に最善を尽くす
  - (2) 顧客に対する供給責任を果たし、取引先への悪影響を防ぐ
  - (3) 事業の早期再開による地域経済への貢献を図る

## 先端技術と経験を結集し、 お客様のために新たな価値を創造します

日本コンラックスは、2006年より米国における無人決済システムのリーディングカンパニーであるMEI社とともにCONLUX/MEIグループとして活動してまいりました。2013年12月よりCONLUX / MEIグループはCPI (Crane Payment Innovations) ファミリーに加わり、日本国内及びグローバル市場の無人決済/電子決済等の分野において、更なる価値の創造と提供を追求しています。国内においては、引き続き日本コンラックスが責任をもち、海外においては世界主要地域に広がる拠点を通してCPIが主体となり、グローバルな視点で、お客様の決済関連事業の発展に貢献いたします。

### ■CPIについて

「CPI(Crane Payment Innovations)」は、産業技術のリーディング企業であるクレーンNXT社の一部です。CPIは、ゲーム、小売、交通、自動販売機、金融サービスといった市場を対象とした幅広い無人決済ソリューションを提供しています。提供する8つのブランド (Conlux, MEI, NRI, CashCode, Telequip, Money Control, Cummins-Allison, MICROTRONIC) の技術的資産と市場専門知識を基盤に、米国(本社)ならびに世界各地にオフィス、製造・流通拠点、サービスセンターを展開しています。

## クレーンNXT社について

クレーンNXT社は、「Crane Holdings Company」の分割に伴い2023年に設立され、「Crane Payment Innovations」と「Crane Currency」で構成されています。世界中の4,000人以上のスタッフが、お客様に高度な技術とサービスを提供することに専念しています。当社の提供する深い専門知識、独自の技術、良質なアフターサービスによって、シームレスで安全な取引を保証しながら、お客様の最も重要な資産をお守りしています。クレーンNXT社は、ニューヨーク証券取引所にシンボル表記「CXT」で上場しています。



### //// グローバルなビジネス展開に対応する



### コンラックス/CPIの開発・営業拠点 ////



## 07 社会的責任(CSR)及び環境方針

### より高い顧客満足度と企業市民としての責任を両立する企業であり続けます

日本コンラックスは地球を構成する者の一人であることを深く認識し、より高い顧客満足度の実現と地球環境の保全に取り組むため、製品の開発から廃棄に至る全ての段階において、環境への影響を評価し、環境に配慮した製品の提供に努め、人と地球にやさしい循環型システムの構築に積極的に取り組んでおります。

最新の硬貨選別機(CLX-G/Vシリーズ)と紙幣識別機(NBX-R600シリーズ)の組合せでは、対1994年比較で74%以上、対2005年比較で64%の消費電力削減を実現、また40%以上の省資源化を達成いたしました。

日本コンラックスは、引き続き省エネルギー化、省資源化/廃棄物削減などの改善活動を推進し、人と地球にやさしい循環型システムの構築を支援いたします。



### 環境方針

#### ■基本理念

株式会社日本コンラックスは、かけがえのない地球環境を健全な状態で次世代に継承するため、環境の保全を事業活動の重要な位置付けとして捉え、自ら責任を持ち、環境保全活動を推進いたします。

#### ■行動指針

株式会社日本コンラックスは、貨幣識別装置、電子決済端末、店舗向け決済機器、入金機的设计・開発・製造・販売に係わる活動を行っており、以下による環境保全活動を実行します。

- (1) 製品の設計・開発から廃棄に至るまでの事業活動、製品およびサービスにより環境に影響を与えている環境側面を把握、有害の低減、有益の促進および製品含有化学物質を管理し有害化学物質の不使用の推進に努めます。
- (2) 環境保全、汚染の予防を確実なものとするために、環境保全推進体制を維持し、継続的改善活動を展開します。
- (3) 国・地方自治体の環境法規制、および当社が同意した業界などの指針を順守します。
- (4) 環境目的、目標を設定し、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減などの改善活動を推進します。また定期的な見直しにより、改善を確実なものとしします。
- (5) 従業員および構内常駐協力業者の環境保全意識を高めるため教育・訓練を行い、全員で環境保全活動に取り組みます。
- (6) 環境方針は社内外に公表し、従業員および構内常駐協力業者に周知させます。

## 08 会社概要



### 株式会社日本コンラックス

本社/本社工場

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-3-8

代表 TEL.049-283-1111

東京オフィス

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-4 JPR麴町ビル9F